



# 14. 空運

## 業界動向

### 海外市場動向～欧米中心に回復、中国は他地域対比で遅れ

旅客需要は、2021年以降、欧米が先行する形で回復に向かっており、2022年もこうした傾向が継続しました。一方、2022年12月までゼロコロナ政策が続いた中国では、需要回復が他国に後れを取る貌となりました。

### 国内市場動向～国内線・国際線とも緩やかに回復

国内線需要は、新型コロナウイルスの感染拡大状況に左右される展開が続いたものの、ワクチン接種の進展や外出自粛要請の緩和等を背景に、少しずつ正常化に向かって推移してきました。国際線需要も2022年以降、国内線に遅れながら回復してきており、今後も中国に対するさらなる水際規制の緩和が見込まれることなどから、引き続き回復基調が継続することが想定されています。

## 今後の見通し

### 旅客需要見通し～コロナ禍前の需要水準への回復は時間を要する見通し

旅客需要は、コロナ禍の収束や水際対策の緩和等に伴い、今後も回復が続く見通しです。もっとも、感染が収束した後でも、ウェブ会議の定着でビジネス利用の減少が見込まれるほか、中国の経済回復の遅れにより、世界全体の旅客需要がコロナ禍前の水準に回復するには未だ時間を要するとみられます。

### 中長距離路線LCC事業の拡大～国内大手はレジャー需要の獲得を目指す

テレワークの普及によりビジネス旅客需要の縮小が懸念されるなか、国内大手エアラインは、低価格を武器にレジャー旅客需要を獲得すること等を目的として、国際線中長距離LCC(注)事業の拡大に注力しています。日本航空が設立したZIPAIR Tokyoは、アジアやハワイ、米国本土への路線を増やしているほか、ANAホールディングス傘下のエアーアジアも、2024年2月から東南アジア路線の就航を予定しており、各社の中長距離LCC事業の拡大の動きに注目が集まっています。

注：Low Cost Carrier、格安航空会社。従来型の航空会社と比べサービスを簡素化し、その分低価格な航空サービスを提供

図表1 日本の旅客需要(RPK)

～国内線・国際線とも緩やかに回復



注：22年度は2022年4月～2023年1月までの累積分  
出所：国土交通省「航空輸送統計(年報及び速報)」より弊社作成

図表2 世界航空会社ランキング

～LCCがシェアを高めた一方、中国系はシェア低下

	企業名		シェア
1	American Airlines	米国	4.8%
2	Southwest Airlines	米国	4.3%
3	Delta Air Lines	米国	4.2%
4	Ryanair	アイルランド	3.8%
5	United Airlines	米国	3.6%
6	China Southern Airlines	中国	2.5%
7	China Eastern Airlines	中国	2.2%
8	IndiGo	インド	1.9%
9	easyJet	英国	1.9%
10	Turkish Airlines	トルコ	1.8%
15	ANAホールディングス	日本	1.1%

出所：CAPA-Centre for Aviation and OAGより弊社作成

図表3 日本の中長距離路線LCC動向

～国内大手はレジャー需要獲得を目指す事業拡大

ZIPAIR Tokyo	
2019年3月	「ZIPAIR」のブランド名を発表
2020年10月	東京＝ソウル線、バンコク線の旅客便就航
2020年12月	東京＝ホノルル線就航
2021年9月	東京＝シンガポール線就航
2021年12月	東京＝ロサンゼルス線就航
2022年12月	東京＝サンノゼ線就航
2023年6月	東京＝サンフランシスコ線就航予定
エアーアジア	
2022年3月	新ブランド名「AirJapan」を発表
2023年3月	「AirJapan」のサービス内容を発表
2024年2月	東南アジア路線の就航を予定

出所：各社プレスリリースより弊社作成